

概要版

新潟市子ども・子育て支援事業計画



新

すこやか未来

Sukoyaka MIRAI Action Plan

アクションプラン



子どもたちのすこやかな育ちと子育てを支えることは、一人ひとりの子どもや保護者の幸せにつながることはもとより、地域社会の活力につながる、重要な未来への投資、未来への希望です。すべての子どもがすこやかに暮らし、育つことは私たちの願いであり、社会全体で取り組むべきものです。

本市は「子ども・家庭・地域に笑顔があふれるまち にいがた」を基本理念として掲げ、この計画を推進することにより、「すべての子どもが地域のなかですこやかに育つまち」「一人ひとりの妊娠、出産、子育ての希望が叶うまち」「子どもと子育てが地域を結ぶまち」の実現を目指します。

平成27年3月



子ども・子育てをとりまく現状

出生率と出生数

本市の平成25年の合計特殊出生率は1.32であり、人口を維持するのに必要とされる「2.07」を大きく下回り、全国や県より低い水準にあります。また、出生数は、昭和50年以降ほぼ一貫して減少しており、平成25年は6,285人で過去最低となっています。

なお、本市の人口は減少を続けており、平成52年には70万人を割ると見込まれています。平成25年度の年齢階層別人口構成比は、6歳未満が4.8%、6～17歳は10.5%と少なくなっている一方、65歳以上は25.0%となっており、本市は危機的な少子・超高齢社会となっています。

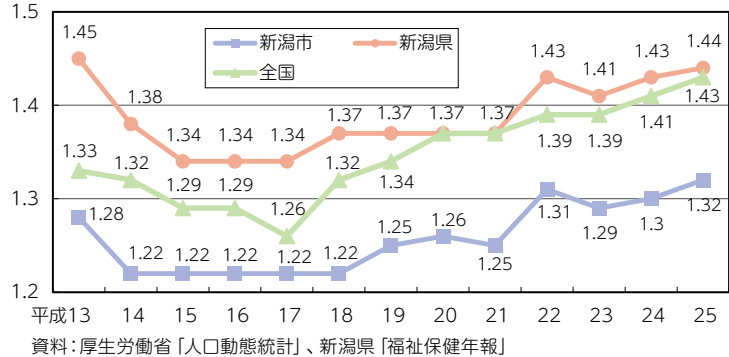
子育てに関する意識

本市の子育て環境への評価について、「子育てしやすいまち」「どちらかといえば子育てしやすいまち」という評価は増加傾向にあります。

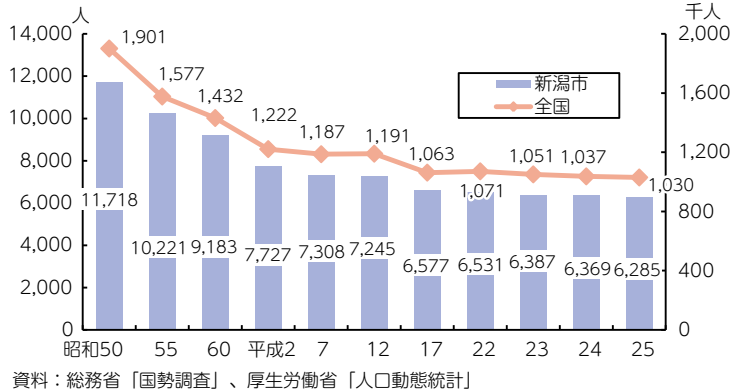
一方、住んでいる地域の子育ての環境や支援について、満足している割合よりも、満足していない割合の方が多くなっています。

本計画によって、地域のニーズに基づき、子ども・子育て支援を総合的・計画的に行うことで、子どもが欲しいという希望が叶い、子育てをしやすい社会、そして一人ひとりの子どもがすこやかに成長することができる社会の実現を目指します。

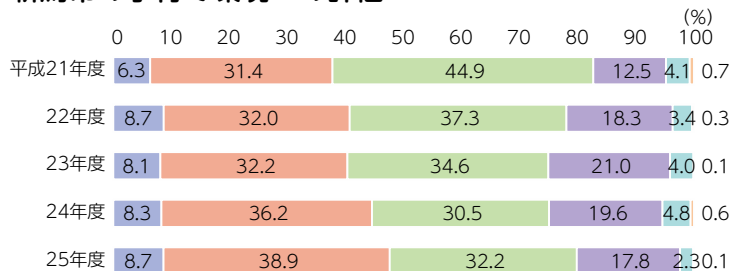
合計特殊出生率の推移



出生数の推移



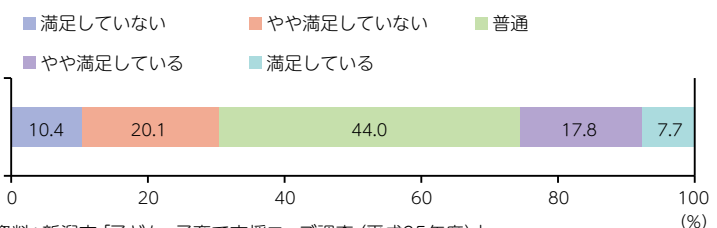
新潟市の子育て環境への評価



- 子育てしやすいまちだと思う
- どちらかといえば子育てしやすいまちだと思う
- どちらとも言えない
- どちらかといえば子育てしにくいまちだと思う
- 子育てしにくいまちだと思う
- 無回答

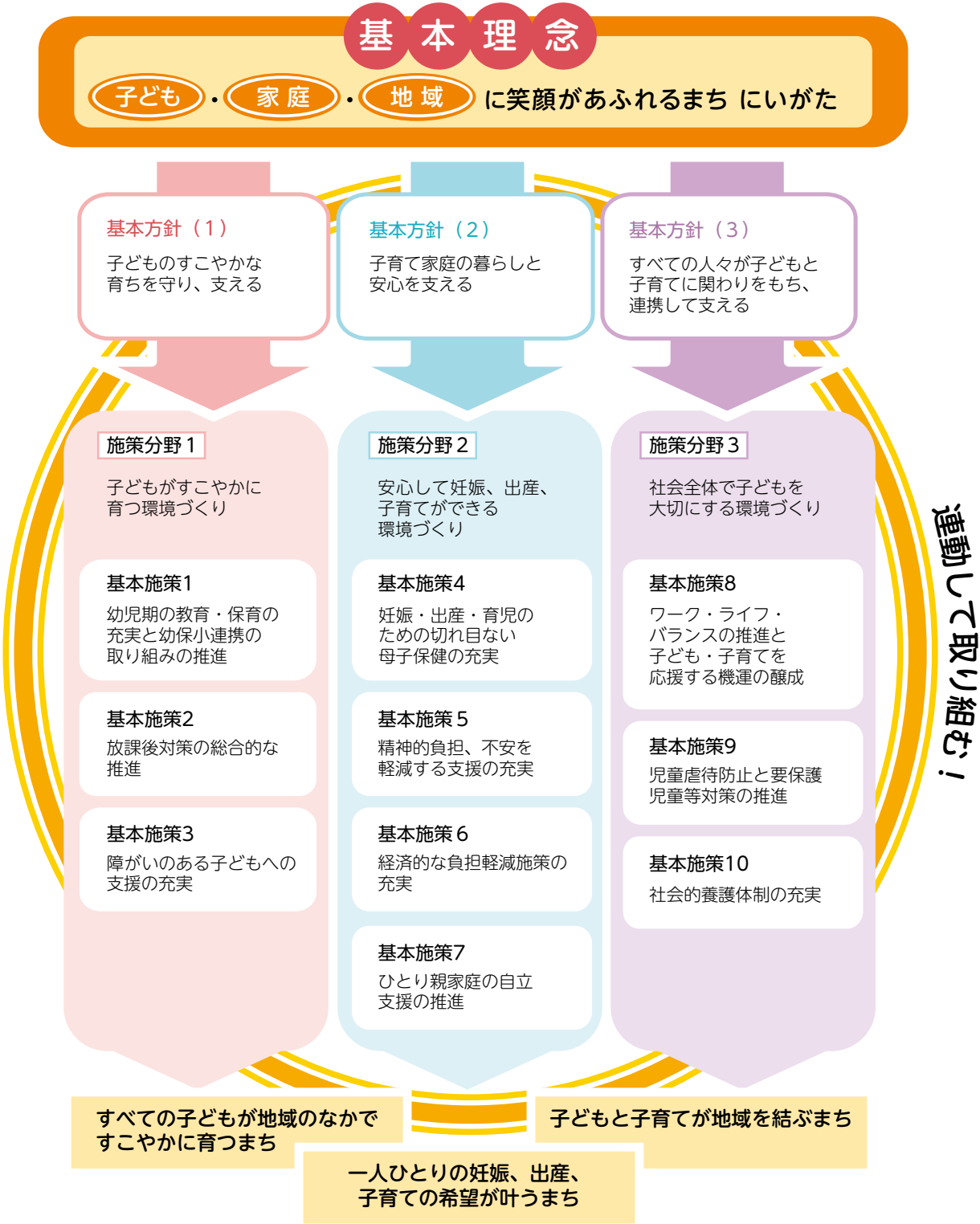
資料：新潟市「子育て市民アンケート調査」

住んでいる地域の子育ての環境や支援についての満足度



計画の基本的な考え方

本市は「子ども・家庭・地域に笑顔があふれるまち にいがた」を基本理念として掲げ、本計画を推進することにより、「すべての子どもが地域のなかですこやかに育つまち」「一人ひとりの妊娠、出産、子育ての希望が叶うまち」「子どもと子育てが地域を結ぶまち」の実現を目指します。



施策の展開

基本方針（1） 子どものすこやかな育ちを守り、支える

子どもの段階や個人差に留意し、一人ひとりが、かけがえのない個性ある存在として認められ、自己肯定感をもって育まれるとともに、すべての子どもの「生きる力」を伸ばし育むとともに、子ども同士が集団の中で育ち合うことができるよう、良質で適切な環境を整え、そのすこやかな育ちを保障する施策を推進します。

施策分野 1 子どもがすこやかに育つ環境づくり

幼稚園、保育園、認定こども園、放課後児童クラブなどが安全で、安心して過ごせる居場所となり、それぞれの成長に応じた集団生活での育ち合いを通じて、子どもが自尊感情や自己肯定感、周りを慈しむ心を育み、一人ひとりが将来に夢や希望、目標を描き、それを実現するための「力」を身に付けるための土台を構築できるよう、すべての子どもがすこやかに育つ環境づくりを進めます。

基本方針（2） 子育て家庭の暮らしと安心を支える

男女ともに保護者がしっかり子どもと向き合い、子どもの成長に喜びや生きがいを感じながら子育てし、保護者自身も成長できるよう、地域や社会が保護者に寄り添い、負担や不安、孤立感を和らげる施策を推進し、妊娠、出産、子育ての一貫した「切れ目ない支援」を推進します。

施策分野 2 安心して妊娠、出産、子育てができる環境づくり

妊娠、出産、子育てに関する負担や不安、孤立感を軽減し、一人ひとりが安心して、希望する人数の子どもを産み育てられ、男女ともに保護者がしっかりと子どもと向き合い、子どもの成長に喜びや生きがいを感じながら子育てを楽しみ、子どもの育ちを支えることができる環境づくりを進めます。

基本方針（3） すべての人々が子どもと子育てに関わりをもち、連携して支える

保護者、地域、学び・育ちの施設、企業・事業主、行政、その他社会のあらゆる分野における構成員が、子どもの育ちと子育て支援の重要性に対する関心と理解を深め、協働し、それぞれの役割を果たすことにより、一人ひとりの妊娠、出産、子育てに関する希望が叶えられ、すべての子どもがすこやかに成長できる社会の実現に向けた施策を推進します。

施策分野 3 社会全体で子どもを大切にしている環境づくり

子育ては保護者がその第一義的責任をもつと同時に、次代の担い手を育成するという営みであることから、社会のあらゆる分野における構成員が、子どもの育ちと子育て支援の重要性に対する関心と理解を深め、各々が協働し、それぞれの役割を果たすことにより社会全体で子どもを大切にしている環境づくりを進めます。

これらの支援は、「子どもへの支援」や「子育て家庭への支援」など対象を単独として行われるものではなく、それぞれが密接に、かつ連動して行われなければなりません。

基本施策 1

幼児期の教育・保育の充実と幼保小連携の取り組みの推進

○乳幼児期の教育・保育と幼保小連携 ○教育・保育サービスの充実

基本施策 2

放課後対策の総合的な推進

○放課後児童クラブ全体の質の向上 ○放課後児童クラブの整備
○子どもふれあいスクールや小学校、地域などとの連携

基本施策 3

障がいのある子どもへの支援の充実

○障がいの予防と早期の気づき・早期の支援、相談体制・支援体制の整備

基本施策 4

妊娠・出産・育児のための切れ目ない母子保健の充実

○安心して妊娠・出産ができる環境の整備 ○安心して子育てができる環境の整備
○健康に過ごすための環境の確保 ○思春期の保健対策の強化

基本施策 5

精神的負担、不安を軽減する支援の充実

○安心して子どもを育てることへの支援 ○子どもに関する相談体制の充実
○子育て支援情報の充実 ○安心して過ごせる居場所の整備、多様な体験の機会の提供

基本施策 6

経済的な負担軽減施策の充実

○子育て家庭の経済的な負担の軽減

基本施策 7

ひとり親家庭の自立支援の推進

○子育て・生活支援 ○就業支援 ○経済的支援 ○養育費確保支援

基本施策 8

ワーク・ライフ・バランスの推進と子ども・子育てを応援する機運の醸成

○ワーク・ライフ・バランスの推進と働き方の見直し、
仕事と子育てを両立できる職場環境の整備
○仕事と子育ての両立のための基盤整備 ○子ども・子育てを応援する機運の醸成

基本施策 9

児童虐待防止と要保護児童等対策の推進

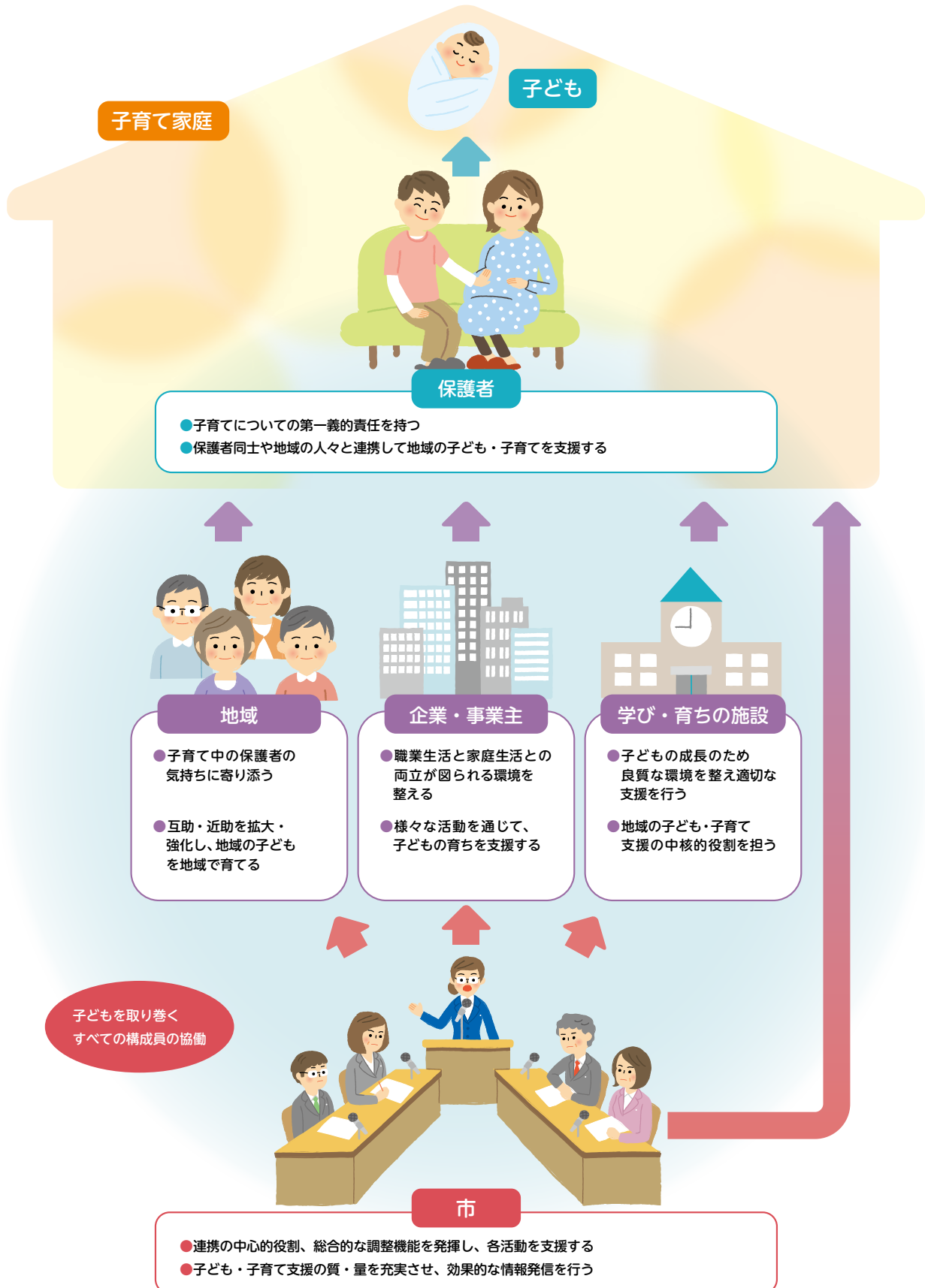
○発生予防 ○早期発見・早期対応 ○保護・支援

基本施策 10

社会的養護体制の充実

○社会的養護体制の充実

役割のイメージ



計画の推進と点検・評価

本計画に掲げた取り組みについては、毎年度の実施状況を、子ども・子育て支援に関係する当事者で構成される「新潟市子ども・子育て会議」や「子育て市民アンケート」などにより点検、評価するとともに、庁内においても情報を共有し、連携を図りながら総合的な取り組みを進めていきます。

さらに、市民ニーズや新たな課題に対応できるよう、必要に応じて見直し、修正を行いながら、計画を推進します。

新潟市子ども・子育て会議

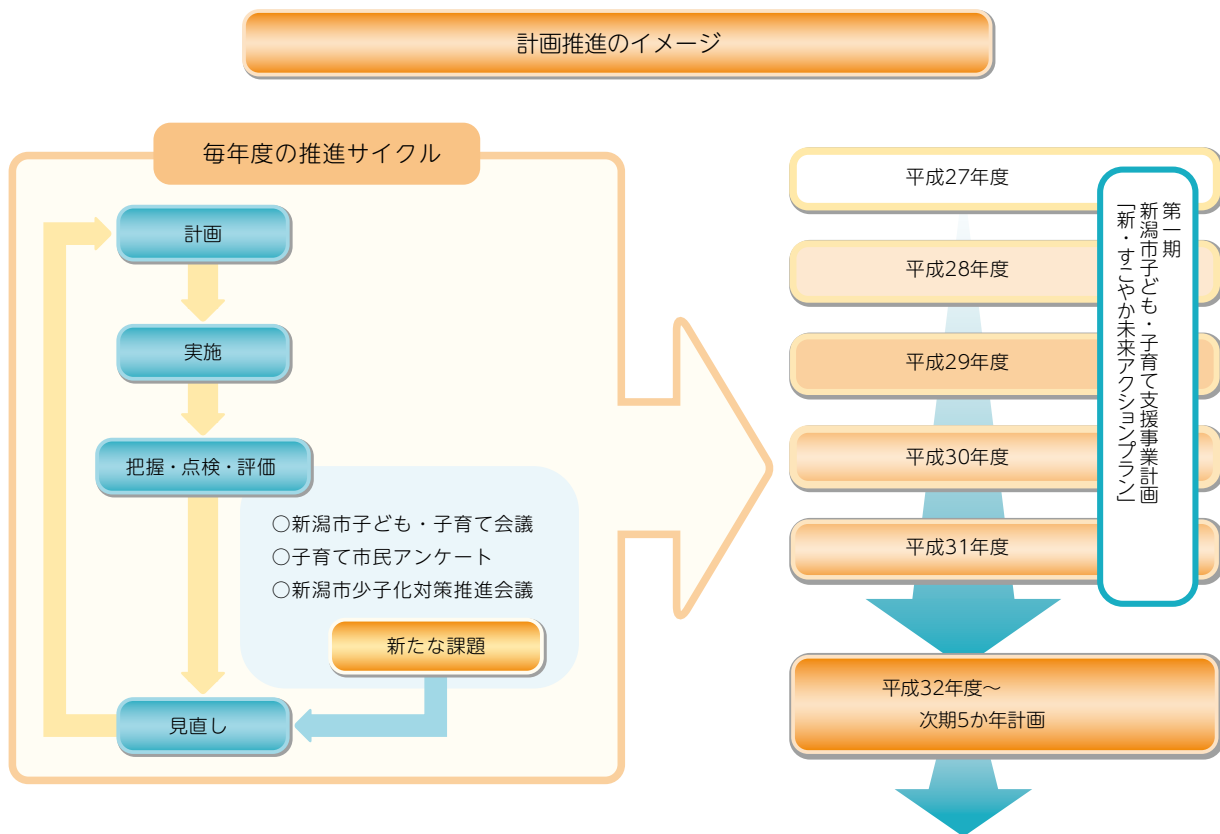
本計画の策定・変更などについて意見を聴くため設置しました。保護者、事業主代表、労働者代表、子ども・子育て支援に関係する事業の従事者や学識経験者など、子ども・子育て支援に関係する当事者を委員として構成されています。

子育て市民アンケート

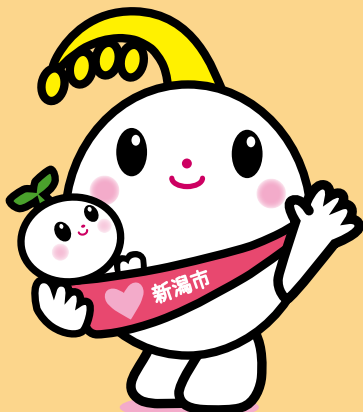
子育て家庭の現状や支援の希望を把握し、本計画の方向性を確認するため、実施していきます。

新潟市少子化対策推進会議

本市における少子化対策を総合的かつ効果的に推進するために設置している庁内会議です。子ども・子育て支援について、少子化対策の重要な施策の1つとして情報を共有し、連携を図りながら取り組みを進めていきます。



新潟市子育て応援キャラクター「ほのわちゃん」です！



新潟市の子育て支援のマスコットとして、パンフレットやイベントなどで幅広く登場し、地域社会全体で子育てを応援するイメージづくりを行っています。

お米がモチーフで、抱っこひもは親を取り巻く、周りからの支援や助けを表現しています。名前は、新潟を代表する稲穂とセーフティネットの安心感「ほっと」や輪をイメージしています。

ほのわちゃんを見かけたときには、みんなで子ども・子育てを応援していることを思い出してみてください。



安心と共に育つ
くらし快適都市
NIIGATA

新潟市子ども・子育て支援事業計画 新・すこやか未来アクションプラン〈概要版〉

平成27年3月発行

ご意見をお寄せください

新潟市福祉部こども未来課

〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1

電話：025-226-1193 FAX：025-228-2197

E-mail：mirai@city.niigata.lg.jp

本計画の策定経緯・意見などの詳細は新潟市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.niigata.lg.jp/>